

令和3年5月21日

各位

宮城県宮城第一高等学校
校長 後藤 和也

本校理数科の新学科への改編について（お知らせ）

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、ますます社会システムの高度化が進み超スマート社会（Society5.0）が実現しつつある現在、今後の社会変化の予測は困難といわれ、どのような新しい社会になっても対応できる資質能力をもつ子どもたちを育てるため、教育においても大きな変化が求められています。令和4年度入学生から実施の新学習指導要領も、こうした社会の要請に対応したものに改訂されており、すべての学校で、探究的活動を基本とした教育活動が実施されます。これまでの「総合的な学習の時間」は「総合的な探究の時間」へ完全に移行し、また、各教科についても、「習得・活用・探究」のプロセスが強調されたものとなるなど、様々な場面で「探究」という学び方が大きな位置を占めてくることとなります。

これからの社会ではまた、自国についての確かな理解の下、視野を世界全体に広げて思考することが求められており、そのためにグローバル社会を前提とした教育が進められています。本校でも、従来より、国際理解教育をはじめ海外の姉妹校訪問や海外研修旅行などの国際交流活動を積極的に行っており、特に力を入れてきたところです。

そこで本校では、令和4年度入学生から新学習指導要領が実施されることを大きな機会と捉え、これからの新しい社会に積極的に参画し変化に対応できる生徒を育成するため、宮城県教育委員会の指導の下、学科の在り方の検討を行ってまいりました。その結果、これまで理数科で長年蓄積し培ってきた探究活動の知見や手法を、さらに理数系にとどまらない学域に広げることで深化・発展させ、これからの大学や社会で求められる資質能力をより身につけることができる教育課程のもとで教育活動を行うこととし、令和4年度入学生から、理数科を「国際探究科・理数探究科」に学科改編することとしました。

本日、「国際探究科・理数探究科」両学科が宮城県教育委員会より宮城県立高校初の探究科として正式に承認されましたことから、ここに皆様にお知らせいたします。

現理数科につきましては、理数教育の蓄積を活かした教育活動をさらに研究し、これまで同様積極的に展開してまいります。

今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。